

第24回 多摩デポ講座

**一橋大学経済研究所資料室・  
附属社会科学統計情報研究センター  
資料室&一橋大学附属図書館見学会**

12月14日(月) 午前10時~12時

集合：JR中央線国立駅・改札前 午前9時40分(厳守)

※ 現地までは徒歩で移動します。

現在、一橋大学経済研究所資料室では、都留重人メモリアルコーナーにて開催中の戦後70年記念企画展示「都留重人の戦争」について、後期展示を行っています。

開戦によりアメリカから帰国することを余儀なくされた青年研究者・都留重人が、戦時下の日本で辿った足跡を、都留の残した資料とともに紹介しています。  
(資料室の「お知らせ」を参考に記載)

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/library/Japanese/>

この展示を見るだけでも大いに意義がありそうです。ぜひ一緒しましょう！

参加費：無料

定員：20人(申し込み順) ※ 要事前申込

お申し込みは、メールかFAXで12月10日(木)までに多摩デポへ

E-Mail : depo\_tama@yahoo.co.jp

FAX : 042-484-3945

# 多摩デポ講座の 少し詳しいご案内

## 一橋大学経済研究所資料室など

### 三施設を一度に見学する欲張った企画です

「経済研究所は1940年4月1日に東京商科大学東亜経済研究所として創設され、49年に一橋大学経済研究所に改組された伝統ある組織です。研究所の設立目的には『日本及び世界の経済の総合研究』を行うことが掲げられており、多くの成果を上げているそうです（経済研究所HP）。

経済研究所資料室では、海外の統計資料、外国雑誌を収集し、研究所の収集する日本経済に関する研究書・各種統計書は、主に附属社会科学統計情報研究センター資料室に収められているとのこと。

「社会科学統計情報研究センターは、社会科学統計に関する情報を網羅的に収集整備し、学術研究者に広く提供することにより、日本経済を中心とする人文・社会科学研究の向上に寄与することを目的としている」（同研究センターHP）。

さらに「附属図書館は、商法講習所以来130年を経た歴史の中で、社会科学を中心とした貴重なコレクションの蓄積が特徴とのこと（附属図書館HP）。

HPの施設紹介から引用しましたが、「百聞は一見に如かず」です。

ちょうどこの時期、都留重人メモリアルコーナーでは、戦後70年記念企画展示「都留重人の戦争」の後期展示をやっている時で、都留重人氏の前半生を偲ぶこともできます。

都留重人氏〔1912～2006〕は米国ハーバード大学卒業後、同校の講師を務め、戦時下の1942年に日米交換船で帰国しました（今年7月亡くなられた、鶴見俊輔氏と同乗です）。戦後1947年に第1回の経済白書を執筆。その後は一橋大学学長など各大学の学長・教授を歴任、都市問題や公害問題などにも積極的に取り組みました。都留氏の業績の一端に触れるだけでも、意義ある見学会になるはずです。

この機会に一橋大学にご一緒しませんか。